

委託訓練カリキュラム

訓練科名	保育士養成コース(2年)		就職先の 職務・仕事	保育所、児童養護施設、乳児院、障がい者支援施設 他
訓練期間	令和8年4月1日から 令和10年3月31日(2年)			
訓練目標	指定保育士養成施設において、保育士養成課程を中心に、講義、演習、実技及び実習により、保育に関する専門的知識と技術を習得する。			
仕上がり像	保育士資格(国家資格)を有する専門的な人材として、保育所や児童福祉施設等において正職員として就職して活躍できる人材。			
訓練概要	学園の教育理念である「技能と心の調和」に基づき、2年間の学習を通じて、保育・福祉の現場で必要な専門知識・技術を修得するだけでなく、皆から信頼、感謝されるような人間性を身につけ、こどもの未来を育む人材となるような訓練内容となっている。			
領域	形態	科目	科目の内容	時間
教養科目	演習	情報処理	ビジネス文書の作成、集計表を交えたグラフの作成方法など基本的な操作を学び実践的に適用する力をつける。	30
	演習	ペン字	社会におけるペン習字の必要性を知り、社会人として応用できる書体と美しい文字を書くための基本的な知識と技術を身につける。	30
	演習	基礎学力演習	保育士として必要な基本用語や教養を理解するとともに社会人としての常識を理解し身につける。	30
	演習	未来デザインプログラムⅠ	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、当校の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分の部分を身につける。	30
	演習	モチベーション・マネジメント	学校や社会における「不都合な現実」に対し、モチベーション理論を基にしたセルフコントロールスキルを学ぶことで、適切に向き合い乗り越える方法を学ぶ。	15
	演習	英語	保育に必要な英語の基礎を身につけ英語でのコミュニケーションに慣れるとともに他言語、異文化、習慣について理解を深める。	30
	講義	体育(講義)	子どもから大人までの健康や生活習慣、健康と運動の関連性について学び理解する。	15
保育の本質・目的に関する科目	実技	体育(実技)	幼児期に必要な運動遊びは何かを理解するとともに保育現場(体育)で使える力を身につける。	30
	講義	保育原理	保育の意義及び目的について理解するとともに保育に関する法令に基づく制度について学び、保育の基本・目標と方法について理解する。	30
	講義	教育原理	教育の理念、思想、歴史などの検討を通じて教育学の基礎的な知識について体系的に学ぶとともに、教育にかかわる今日的な課題についても原点的に考察する。	30
	講義	子ども家庭福祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史を知り、現代の制度や実施体系について理解する。	30
	講義	社会福祉	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷、社会福祉における子ども家庭福祉の視点を理解する。	30
	講義	子ども家庭支援論	子育て家庭に対する支援の意義と目的、保育の専門性を生かした支援の基本を理解するとともに子育て家庭に対する支援体制を知る。	30
	講義	社会的養護Ⅰ	子どもの人権擁護や保育士等の倫理と責務を踏まえて理解するとともに歴史の変遷を辿り、今日の社会的養護の制度や実施体系、施設養護や家庭養護の実態を学ぶ。	30
	講義	保育者論	学生一人一人が目指していくべき保育者像を追究し理解するとともに実際に保育現場で保育者が働いている様子から伺える様々な葛藤、それを通しての成長の過程を知る。	30
	講義	保育の心理学	保育現場で関わる年齢期に応じた子どもの心理と身体のあり方、およびその成長・発達について学ぶ。	30
	講義	子ども家庭支援の心理学	生涯発達と初期経験の重要性について理解するとともに、家族・家庭の理解や、子育て家庭に関する現状を理解する。	30
保育の対象の理解に関する科目	演習	子どもの理解と援助	子どもの各年齢ごとの育ちや抱える課題等を学び、具体的な援助や態度を知る。	30
	講義	子どもの保健	子どもの特徴、発育・発達の様子を知る。子どもに多い疾患や事故に対する予防法・予防策・望ましい安心安全な環境づくりについて学ぶ。	30
	演習	子どもの食と栄養Ⅰ	小児期の食生活は生涯にわたる健康な生活を送るための基礎となるため、保育者として食を通じた子どもの健全育成に携わる知識を身につける。	30
	演習	子どもの食と栄養Ⅱ	家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について関連データを踏まえ理解し、疾病や障害、アレルギーを持つ子ども等への対応について理解する。	30
保育の内容・方法に関する科目	講義	保育の計画と評価	保育における計画及び評価の重要性について理解するとともに保育の全体的な計画の編成と指導計画の作成について事例を通して、意義と方法を学ぶ。	30
	演習	保育内容総論	保育の全体構造を理解し「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と保育内容の関連を学ぶ。	30
	演習	健康	幼稚園教育要領・保育所保育指針等における領域「健康」の「ねらい」「内容」について理解するとともに保育活動における健康教育について学ぶ。	30
	演習	人間関係	幼児期の人間関係の発達に関する学びを基に、領域「人間関係」のねらい及び内容への理解を深める。	30
	演習	環境	子どもが環境とかかわる力を培うことができるよう具体的な指導法とを考えると同時に指導計画を実際に作成し、それを実践する中で子どもへの援助の在り方を学ぶ。	30
	演習	言葉	言葉の発達に即して、言葉遊びや児童文化財を適切に活用する技術を体験的に学び、保育を構想する力を身につける。	30
	演習	表現	保育者として子どもの表現力をどのように育て、援助していけばよいかについて学ぶとともに保育の場における「表現」に関する課題、他の領域との関連性についても理解を深める。	30
	演習	音楽表現Ⅰ	保育現場に必要な実践的なピアノ演奏の基礎技術を身につける。	60
	演習	保育製作Ⅰ	保育者として必要な製作表現に関わる知識と技術を身につけるとともに子どもたちの前で表現する技術を身につける。	60
	演習	身体表現Ⅰ	幼児期に必要な運動プログラムを実践し、指導方法を学ぶ。	30
	演習	言語表現	素話や絵本、紙芝居、ペープサート、パネルシアター、言葉遊びなど、子どもの言語発達に関わる児童文化財の特徴や正しい扱い方を学ぶとともに集団前での実技と相互批評活動を通じて、保育現場で子どもの言語活動を豊かに展開する実践力を身につける。	30
	講義	乳児保育Ⅰ	乳児保育の意義、目的、歴史の変遷、役割などを現状と課題を含めて学ぶとともに保育所や乳児院等様々な保育の場を知り、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容を理解し、その運営体制や職員間の連携、家庭・地域との連携等について学ぶ。	30
	演習	乳児保育Ⅱ	3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わり方、配慮の実態を具体的に学ぶとともに養護と教育の一体性を踏まえた3歳未満児の生活や遊び、保育方法、環境について、計画の作成や演習を通して具体的に学ぶ。	30
	演習	子どもの健康と安全	子どもの身体発育・発達の理解や健康状態の把握、疾病や事故の予防や対応など、保育における保健的対応に必要な基礎的事項を学ぶ。	30
	演習	障がい児保育	障害児等の理解と保育における援助、指導計画及び個別の支援計画の作成、生活や遊びの環境、子ども同士の関係性、職員間の連携について学ぶとともに家庭・関係機関及び小学校等との連携・協働について理解し、保健・医療・福祉・教育の現状と課題を知る。	60
	演習	社会的養護Ⅱ	施設養護及び家庭養護の実態について具体的に理解するとともに社会的養護の必要な子どもの特性や現状を踏まえ、日常生活支援、治療的支援、自立支援の視点で事例から実践的に学ぶ。	30
	演習	子育て支援	子育て支援の原則をより理解し、保育における相談や子育てに関する保護者の悩みへの対応について事例を考察しながら学び、保護者の子育て支援ができる知識と技術を身につける。	30
総合演習	演習	保育実践演習	実際の保育現場における設定保育や園行事の運営を模擬的に体験し、行事の成り立ちを理解するとともに子どもの育ちと遊びの関連性について理解し、具体的な遊びを立案、実践できるように学ぶ。	60
保育の対象の理解に関する科目	演習	地域支援実践	地域社会において福祉・教育・保育等の領域に関わるボランティア活動に参加することを通して、多様な能力の育成、社会性の涵養ならびに実践による知識技術の習得を目指す。	60
	演習	音楽表現Ⅱ	保育者に必要な音楽の知識を身に付け、演奏や子どもへの音楽表現遊びに役立てる。	30
保育の内容・方法に関する科目	演習	音楽表現Ⅲ	音楽表現活動を豊かに展開するために必要な基礎的知識と技術を身につけるとともに子どもの経験・実態に応じた、音楽表現と関連付ける遊びの展開を習得する。	60
	演習	音楽表現Ⅳ	子どものうたのレパートリーを広く学習し、保育現場に相応しい演奏技術を身につける。	60
	演習	製作表現	子どもたちの感性や創造性を豊かにする様々な製作表現方法を理解するとともに製作表現活動に必要な知識技術と保育への活用法を身につける。	30
	演習	保育製作Ⅱ	保育者として必要な製作表現に関わる知識、感性及び技術を身につけ、子どもの成長に合った活動を想定して指導計画を立てる重要性を理解する。	60
	演習	こどものうたⅠ	保育現場に必要な基礎的な歌唱技術、ソルフェージュを実践的に学ぶ。	30
	実習	インターンシップ	責任のある立場での職業体験を通して、働くことの意義や厳しさを体感し、就職活動の幅を広げる。	90
	実習	保育実習Ⅰ(保育所)	乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能と保育士の職務について学ぶために、保育所の生活に参加する。	90
保育実習	実習	保育実習Ⅰ(施設)	児童福祉施設や障害者支援施設にて実習を行い、保育士として必要な基礎的な子どもや施設利用者に対する理解を深める。	90
	演習	保育実習指導Ⅰ(保育所)	保育実習の意義や目的を理解し、実習に必要な知識や技術、心構えを身につける。	30
	演習	保育実習指導Ⅰ(施設)	保育実習の理解を高め、保育士としての基本的な態度、知識、技術の基礎を形成するとともに、保育実習に向けた課題の明確化を図る。	30
	実習	保育実習Ⅱ(選択必修)	保育所での保育を実践し、保育士としての必要な資質・能力・技術を習得するとともに家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。	90
その他の講座	演習	保育実習指導Ⅱ(選択必修)	保育実習Ⅱでの課題を明確化し、発達年齢に合わせたより具体的な子どもとの関わりを学ぶ。	30
	講義	安全衛生	保育現場における安全衛生について学ぶ。	3
	講義	働くことの基本ルール	社会人としてはもちろん保育者として必要な働くことの基本ルールを学ぶ。	3
	演習	実習指導	実習生として好意の持たれる対応や立ち居振る舞いを実践できるとともに保育者になるために必要な知識と実習に向けての技術を身につける。	60
就職支援	演習	ホームルームⅠ	学校生活や実習等に関する手続きやスケジュール、必要事項の確認を行う。	30
	演習	ホームルームⅡ	就職活動や資格申請等に関する手続きやスケジュール、必要事項の確認を行う。	30
	演習	就職指導	最速で希望通りの就職ができるよう就職活動において必要な知識・技術を身につける。	30
訓練時間総合計				2,196 時間
学科	1170 時間	実技	930 時間	就職支援 96 時間

訓練コース内容

識別コード	26L0410	訓練コース番号	5-08-27-207-05-0088
訓練科名	長期高度人材育成コース 保育士養成コース(2年)		
訓練期間	令和8年4月1日(水)～令和10年3月31日(金)		
訓練実施校名	大阪子ども専門学校		
所在地	大阪市淀川区西中島5-7-23		
電話番号	06-4806-6800	受付時間	8:45～17:45
事前説明会日時	1回目 2月6日(金)10:00～	2回目 2月7日(土)10:00～	
	3回目 2月7日(土)14:00～	4回目 2月9日(月)10:00～	
	5回目 2月9日(月)14:00～	6回目 2月10日(火)10:00～	
	7回目 2月10日(火)14:00～	8回目 2月14日(土)10:00～	
	9回目 2月19日(木)10:00～	10回目 2月19日(木)14:00～	
	11回目 2月26日(木)10:00～	12回目 2月26日(木)14:00～	
	13回目 3月2日(月)10:00～	14回目 3月2日(月)14:00～	
	15回目 3月4日(水)10:00～	16回目 3月4日(水)14:00～	
選考試験日	3月16日(月)		
試験科目	面接・自己PR文		
入校に必要な最終学歴	高等学校卒業資格もしくは同等資格以上		
最寄り駅	JR 各線 新大阪駅(徒歩5分・距離0.4km) Osaka Metro 御堂筋線 西中島南方駅(徒歩8分・距離0.7km) 阪急 京都線 南方駅(徒歩8分・距離0.7km)		
備考			

【最寄り駅からの地図】

